



社会性を育む

園長 河原 宏子

令和4年度が始まり3か月が経ちました。4歳児ゆり組の初めての集団生活、5歳児すみれ組の2年目を迎えた集団生活はいかがでしたか。いろいろな人と触れ合う中で、うれしいことも楽しいこともあり、時にはいやな思いをすることもあったと思います。幼稚園で子供たちが過ごす目的の一つは社会性をつけることです。いろいろな大人、同年齢、異年齢の子供と遊ぶ中で自分とは違う物の見方や行動をする人がいることを知る、その中で自分を出しながらいろいろな人と付き合っていくことを学ぶ場です。様々な体験を積み重ねて生活力が付いていきます。大人の役割は帰宅後、友達のことを「〇〇ちゃんが貸してくれない」「〇〇ちゃんがぶった」と話したとき、第一はよく聞いてあげることです。大人は忙しく動いていることも多いかと思いますが、うわの空や、他のことをしながら聞かないことが大切です。第二は聞き終わった後で子供の話を受けながらも〇〇ちゃんの良いところを話してあげることです。大人の話聞いて子供は、人間の多面性に関心を向けるようになります。年長児の保護者の方は、1年間の園生活を通してクラスの子供たちを理解し、「〇〇さんのこんなところ素敵だわ」と感じる経験をされていることでしょう。年少児の保護者の方は、まだお互いをよく知らない方も多いと思います。そんな時、年少児の保護者の方には、登降園時を通して、自分の子以外の子供の姿に触れ、良いところを探し子供に伝えてほしいと思います。一人一人の保護者が自身の子だけでなく、その子供を取り巻く友達を大切に、互いに子供をよく見て、家庭・幼稚園・地域の皆で子育てをしてまいりましょう。

もうすぐ夏休みになります。9月には、夏休みの様々な経験や体験を通して、一回り大きくなった子供たちに会えることを楽しみにしています。



今月のねらい

<年少ゆり組>

- ① 自分のしたい遊びを楽しみ、友達とふれ合ったりかかわったりして遊ぶ楽しさを感じる。
- ② 園生活の流れや約束が分かり、自分なりに動こうとする。

<年長すみれ組>

- ① 興味のある遊びに取り組む中で、自分なりのめあてをもち、考えたり試したりすることを楽しむ。
- ② 自分の思いを伝えたり、相手の気持ちを受け入れたりしながら、友達と一緒に遊びや生活を進める楽しさを味わう。

園だよりや幼稚園での最近の様子をホームページにて配信しています。ご覧ください。



緑幼稚園 HP
QRコード